

まちづくり政策についての意見交換会

テーブル：環境

コーディネーター：元岡健一

書記：神道裕介

出席者：平田秀夫議員・岡田勝利議員

長尾正人・武田繁親・羽藤大輔

【ごみ処理場の移設について】

・宮脇地区へのごみ処理場の新設について

行政と地元住民の意見のすれ違いからここまでの問題に発展している。

住民はごみ処理施設がもたらす環境への影響を悪いイメージとして捉えている。

実状ごみ処理施設は技術発展により心配されているような問題は無い。

・新施設の処理方法について

灰のまま処分する方法と溶融スラグ化して減灰する方法が現在の主流

今治市の新施設は現在のところ未決定

灰のまま処分する場合

処分する灰の量が多いため灰処分場が広大になる

処理場建設費は比較的安価

溶融スラグ化する場合

減灰の期待がもて、灰処分地に余裕が生まれる

発生する溶融スラグが別用途に使用出来る（建設骨材等）

溶融スラグの利用先の確保が必要、補助金等の問題もあり

処理場建設費用は高騰する

・これからの展望

市民全体が「ごみ処理施設の必要性」について再認識する

ごみ処理施設に対する正しい知識を広く普及する

「宮脇地区の人々に理解してもらう」のではなく、まず我々が理解する

【市議会議員から今治JCメンバーに対して】

平田秀夫議員・・・ケヤキ並木のイルミネーションを是非とも実現してください。

岡田勝利議員・・・本会のような場を多く提供してください。